

オオタバコガによる被害が多くなるおそれ  
～野菜類や花き類での防除対策を徹底してください～

1. 病害虫名：オオタバコガ

2. 発生物種：野菜類、花き類

3. 発生地域：全県

4. 発生時期：－

5. 発生量：多い

6. 注意報発表の根拠（現在までの発生状況と今後の発生予想）

- (1) 防除適期決定ほ（3地点）におけるオオタバコガのフェロモントラップへの総誘殺数は5月5半旬から7月3半旬まで平年よりも多く推移し、7月3半旬に急増した（図－1）。また、6月1半旬から7月3半旬まで総誘殺数は275頭（平年5.3頭）で、2016年の調査開始以降、最も多かった（図－2）。
- (2) アスパラガス、トマト、ミニトマト、えだまめなどの野菜類やきく、リンドウなどの花き類において、オオタバコガの幼虫による被害が県内で広く確認されている（図－3、4、5、6）。
- (3) 7月18日に仙台管区气象台から発表された東北地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は高い、降水量は平年並か多いと予報されている。
- (4) 以上のことから、今後、さらにオオタバコガによる被害が多くなるおそれがあるため、以下の防除対策を徹底する。

7. 防除対策

- (1) 本種の幼虫は広食性で多くの野菜類や花き類の花、果実、葉、茎を食害する。トマトなどの果菜類では果実や茎に食入するほか、きくなどの花き類では花蕾や葉を食害し、品質低下や減収を招く。そのため、発生状況を観察し、被害部位は取り除き幼虫を捕殺する。
- (2) 幼虫の齢期が進み、果実や茎、花蕾などに食入すると薬剤がかかりにくくなる。また、老齢幼虫に対しては薬剤の効果が低下するので若齢期のうちに薬剤防除を徹底する（表－1、2、3、4、5）。
- (3) 薬剤感受性の低下を回避するため、同一RACコードの薬剤は連用しない。
- (4) 施設栽培では、開口部全てに防虫ネット（目合い4mm以下）を設置し、本虫の施設内への侵入を防ぐ。

8. 資料

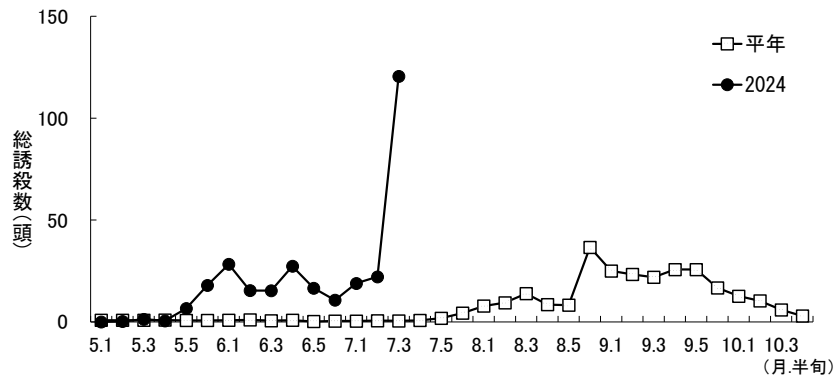


図-1 防除適期決定ほ（3地点）におけるフェロモントラップによる総誘殺数の推移

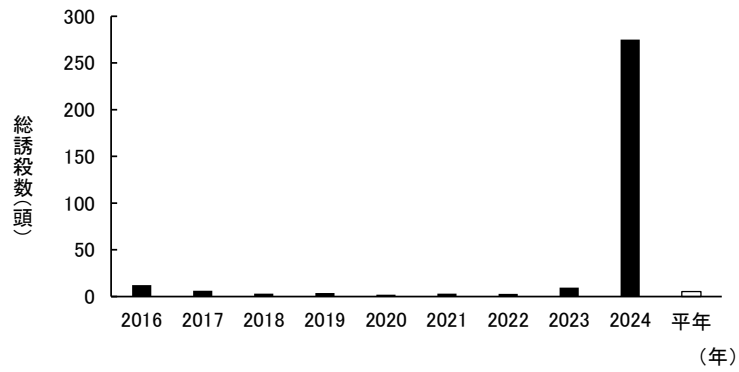


図-2 防除適期決定ほ（3地点）におけるフェロモントラップによる総誘殺数の年次推移（6月1半旬～7月3半旬）

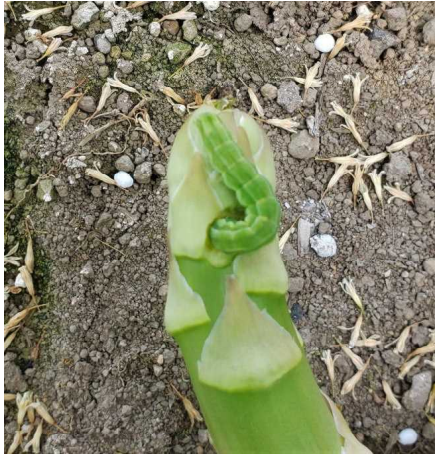


図-3 アスパラガスの食害



図-4 ミニトマトの食害



図-5 えだまめの食害



図-6 りんどうの食害

表-1 なす科果菜類の防除薬剤

RAC コード	農薬名	適用作物					希釈倍数	散布液量
		トマト	ミニトマト	なす	ピーマン	とうがらし類		
3A	アーデント水和剤	○	○				1,000倍	150~300 L/10a
15	アタブロン乳剤	○	○		○		2,000倍	
6	アフアーム乳剤	○	○	○	○	○	2,000倍	
11A	エスマルクDF	○					1,000倍	
15	カスケード乳剤	○	○		○		2,000倍	
30	グレーシア乳剤	○	○				2,000倍	
13	コテツフロアブル	○	○	○			2,000倍	
5	スピノエース顆粒水和剤			○	○		5,000倍	
11A	ゼンターリ顆粒水和剤	○		○	○		1,000倍	
11A	デルフィン顆粒水和剤	○					1,000倍	
11A	トアローフロアブルCT	○			○		500~1,000倍	
22A	トルネードエースDF	○					2,000倍	
15	マッチ乳剤	○	○	○	○		2,000倍	
18	マトリックフロアブル	○	○				1,000~2,000倍	
28	ヨーバルフロアブル	○	○				5,000倍	

表-2 アスパラガスの防除薬剤

RAC コード	農薬名	希釈倍数	散布液量
3A	アーデント水和剤	1,000倍	150~300 L/10a
6	アフアーム乳剤	2,000倍	

表-3 きくの防除薬剤

RAC コード	農薬名	希釈倍数	散布液量
22B	アクセルフロアブル	1,000~2,000倍	150~300 L/10a
6	アニキ乳剤	1,000~2,000倍	
6	アフアーム乳剤	1,000倍	
15	カウンター乳剤	2,000倍	
30	グレーシア乳剤	2,000倍	
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	
28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	
UN	プレオフロアブル	1,000倍	
30	プロフレアSC	4,000倍	
28	ヨーバルフロアブル	2,500~5,000倍	

表-4 りんどうの防除薬剤

RAC コード	農薬名	希釈倍数	散布液量
5	ディアナSC	2,500~5,000倍	150~300 L/10a
28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	

表-5 花き類・観葉植物の防除薬剤

RAC コード	農薬名	希釈倍数	散布液量
22B	アクセルフロアブル	1,000倍	100~300L/10a
5	ディアナSC	2,500~5,000倍	
28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	
UN	プレオフロアブル	1,000倍	
28	ヨーバルフロアブル	2,500~5,000倍	

## 【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326  
掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>